



たえる
耐

富岡 勝則

皆さんこんにちは。

年が明けて1か月がたちますが、いかがお過ごしでしょうか。私は、先月12日にゆめばれすで行われた成人式に出席をしました。特に大きな混乱もなく、式典を通じて新成人の方との貴重な時間を共有することができました。ご存知のように、今年の成人式は、初めて平成生まれの方が対象となったわけですが、時の流れの速さに驚くとともに、昭和という時代が一段と遠くなってしまったことを改めて実感しました。

ところで、去年の後半から、アメリカに端を発した金融不安が世界中に広がり、世界経済が急激に悪化しています。この影響によって、我が国の経済も大きな打撃を受け、連日マスコミなどでも報道されているとおり、派遣労働者の方が突然、契約を打ち切られたり、あるいは企業が資金繰りの悪化で倒産したりするなど、大変な状況となっ

ています。こうした状況を受けて、朝霞市では昨年の12月24日に朝霞市緊急経済対策本部を立ち上げ、市民の皆さんや市内の事業者の皆さんの経済活動の安定化を図るため、①市民生活に対する支援、②中小企業等に対する支援、③雇用の維持・確保の3項目を柱とした対策を実施することとしました。この具体的な内容としては、まず、生活支援策として、国民健康保険や入学準備金貸付制度などの各種減免・支援制度の周知、福祉資金貸付制度における限度額の拡大および返済期限の延長などを行います。また、中小企業等に対する支援策、雇用の維持・確保に向けた対策として、中小企業向け融資制度の利子補給率の拡大をはじめ、労働・社会保険相談業務の拡充、臨時職員の雇用枠の確保などを行います。お困りの方がいれば、お力になれることもあると思いますので、まずは相談をしてみてください。私も、引き続き金融機関や企業経営者の方に、資金協力や雇用について、お願いしていきたいと思います。今年の干支、丑年の始まりは、大変厳しいものとなっていますが、一步一步着実に、力を合わせて困難を乗り越えていければと思います。

それから、昨年末から、全国各地で火災が多く発生しているようです。皆さんも火の元には十分に注意をしてください。それでは、また。

朝霞市は男女平等を進めています

—DV(ドメスティック・バイオレンス)を知ろう⑩—
「市民意識調査から見えるDVの実態」

今年度7月、18歳以上の市民2,000人を対象に「朝霞市男女平等に関する市民意識調査」を実施しました。この調査結果から、DVの被害経験について11.6%の女性が配偶者や恋人など親密な関係にある相手から身体的暴力を受けた経験があり、さらに前回調査結果(平成16年度)を2.1ポイント上回ったことが分かりました。身体的暴力のうち「大声で怒鳴られたり、すぐに暴力を振るわれる」がもっとも多く、5人に1人が経験。次いで、「命の危機を感じるくらいの暴行を受ける」は8.4%が経験しています。このようなDV被害経験がある女性のうち、誰(どこ)かに相談した人は35.2%という結果となりました。

【DV被害の相談は、人権庶務課男女平等推進係へ】

*このコラムは、「朝霞市男女平等推進事業企画・運営協力員」との協働により掲載しています。

問い合わせ／人権庶務課 内線2255 ☎048-463-2697(直通)

ひとの推移



人 口	12万8,379人	(0人)
男	6万5,815人	(- 41人)
女	6万2,564人	(+ 41人)
世帯数	5万7,791世帯	(- 43世帯)

平成21年1月1日現在 () 内は前月比

市町村交通災害共済の加入

問い合わせ／道路交通課 内線2263

☎048-463-1514(直通)

埼玉県市町村総合事務組合が運営する交通災害共済制度に4月1日(水)から加入できるようになりました。

この制度は、皆さんが会費を出しあい交通事故により災害を受けた方に見舞金をお支払いする相互扶助制度です。

平成21年度の市町村交通災害共済の加入受け付けを、3月2日(月)から道路交通課、内間木支所、朝霞台出張所、朝霞駅前出張所、最寄りのゆうちょ銀行、郵便局で開始します。

加入できる方／市に住民登録または外国人登録のある方

対象となる事故／日本国内の道路上における自動車・オートバイ・自転車等による衝突、接触、転落、転覆等の事故や、歩いていてこれらの車両にはねられたり、ひかれたりした事故。また、踏切道における電車等の接触、衝突、その他の事故により傷害を被ったときの事故。

※電車、飛行機等の事故、バス等の乗降車中における事故、歩行中、交通事故以外の不注意による事故等は支払いの対象になりません。

共済会費／年額…一般900円、中学生以下500円でひとりに限り一口加入できます。なお、途中で加入する場合も同額です。

※加入手続きの際に、保険料を持参ください。